



—地域活動応援隊だよ！—



発行日：令和3年1月 発行者：地域活動応援隊

はじめまして！地域活動応援隊です！

地域活動応援隊は、『地域活動の継続や再開に迷っている皆さんのお手伝いがしたい』という思いのもと、泉区役所障害高齢課、仙台市社会福祉協議会泉区事務所、泉区内の地域包括支援センターで結成されました。

今回は新型コロナウイルス禍の活動状況について取材を行い、様々な工夫や活動への思いなど、たくさんのお話を教えていただきました。

活動再開した方も、活動に迷いを抱えている方も、ぜひ参考にしてみてください。お互いに情報交換し、一緒に考えていきましょう！

松陵にっこりクラブ

- 【活動内容】 高齢者健康体操（運動自主グループ）
- 【活動場所】 松陵2丁目集会所
- 【活動日時】 月2回（第1・第3木曜日）10:00～11:00
- 【担当包括】 松森地域包括支援センター
- 【モットー】 「笑顔が絶えない、明るく楽しく体操を行う」



【コロナ対策で工夫していること】

- ①新型コロナウイルスの感染拡大防止の為に、休会をする時、自宅で体操を行えるよう、体操のリーフレットとおトク体操のCDを配布。
- ②広い場所（間隔がとれる）と、使用した椅子の消毒（会員の皆様も行う）。換気を行って実施する。密な時間を避けるため活動時間を90分→60分に短縮。
- ③体調管理をしていただき、自宅で検温して来場。体調が優れない時は、休んでいただくよう依頼。

休止中でも運動が出来るように！

【活動再開しての感想】

自宅に閉じこもっている期間、親しい人、体操仲間と会話ができません、また、自発的に体操を行う機会が少なかった分、再開を待ちわびていたことが十分伝わった。

【その他工夫している取り組み】

- ①従前のようにフルメニュー（内容・時間）とはいかない中で、必要最小限のメニューとして60分で実施。
- ②グループとしてやれる範囲で地道に続けることが大事！

再開直後は広い会場で開催！など
3密対策！



【読者・他団体へのひとこと】

- ①感染拡大防止のため、何をするか、できるかをサポーターで話し合い対策を講じた。
- ②参加する・しないを会員に判断していただくため検温と体調をみていただくようお願いした。
- ③状況に応じた体制と対応で活動していきたい。

高森4丁目カフェ

【活動内容】カフェ

【活動場所】高森4丁目集会所

【活動日時】毎週木曜日（月4回）

10:30~12:30・13:30~15:30（2部制）

【担当包括】高森地域包括支援センター

【モットー】「みんなで考え、できることから始める」

【コロナ対策で工夫していること】

10:30~15:30で開催していたが、現在はお昼に一度閉め2部制に。常に換気できるようにし、テーブルや椅子の配置も工夫。人数が多くなる時にはスタッフが隣の和室に移動し、対応できるようにしている。

【読者・他団体へのひとこと】

運営スタッフや町内会の方、参加者の方に話をよく聴く事。その都度相談することが大切。運営開始する時も、再開させる時も、常にみんなで相談し生の声を聴くようにしていました。そして第一歩を踏み出す事と、どのように踏み出すかが大切。

【スタッフの声】

気軽に顔なじみの方が町内会単位でいつでも利用できる場があると良いと思う。

4丁目に限らず来られる方来たい方は利用できるようにしている。

隠れた才能を持った方が多いので、協力し合えたり発揮できる場としてありたい。



【参加者からの声】

気軽に来られるところが良い。コーヒーがおいしい。縛りがなく、気楽に自由に過ごせるゆるさが良い。

いっぴく処



【活動内容】サロン

【活動場所】向陽台4丁目、向陽台会館跡地

【活動日時】毎週水曜日（月4~5回）9:30~12:00

【担当包括】向陽台地域包括支援センター

【モットー】「誰でも、好きな時間、気軽に立ち寄って会話をする」

【コロナ対策で工夫していること】

- ① 移動販売車が来場する屋外にて開催。
- ② 食べ物は原則なし、お茶は紙コップで提供し使用後は廃棄処理するように徹底。

【率直な思い】

新型コロナの影響で「いっぴく処の会」が開催できず、多くの方から“おこもり”状態で「みんなと話したい・顔が見たい」等の声が寄せられていた。屋外のためこれまでにない解放感を味わいながら移動販売車の利用も兼ね行った。

【読者・他団体へのひとこと】

室内では難なくできていた運営でしたがこんな時こそ活動団体の真価が問われる場面では？との思いでサポーターの方々の熱心な話し合いを経て屋外開催を実施している段階。他団体からの協力など枠にとらわれない交流も生まれている。継続していく中で新たな問題が発生するかもわかりませんが“難は幸いのチャンス”と捉え、これからも楽しみながら会を続けていきたい。

